

# 総合力の更なる向上に向けた研修体制の確立

課題 ケースワークへの対応力向上、地域の連携強化

## ■Off-JT(集合研修) (演習型研修の充実)

- 中央児童相談所の研修機能強化  
・研修担当、人材育成担当(児相OB)の新設
- 外部講師の活用

- 【児童福祉司としての専門的スキル】  
事例演習、プロセスレコード(面接技法)など
- 【行政職としての専門知識】  
法解釈、公文書作成など
- 【マネジメントスキル】  
仕事の進め方、プレゼンなど
- 【メンタル管理、モチベーション管理】  
EQ測定、自己の成育歴など

### 地域支援

- 演習型合同研修(子家セン、保健所等)  
⇒事例検討、ロールプレイング(模擬関係者会議)など

## ■OJT(実務修習) (実務を通じてチーフ等が指導)

- 児童福祉司、児童心理司のインターン期間の導入(人員増の必要)
- 人材育成担当(児相OB)の導入

家庭訪問、面接、関係者会議、援助方針会議など各実践の場面でOJTを実施

- チーフが子家センを定期的に訪問
- 児相への長期派遣(子家セン)

## ■派遣研修 (中堅職員のスキルアップ)

- 家庭裁判所、研究機関等へ派遣

様々な相談援助スキルの修得

○OJT、Off-JTを効果的に組み合わせた研修体系

OJT

Off-JT

OJT